

セントラルミラートレーダー取引要綱

最終改定日：2019 年 3 月 4 日

【取引要綱について】

取引内容	証拠金による外国為替取引
取引方法	インターネット* ¹
取引時間	24 時間、日本時間の月曜日午前 07：00～土曜日午前 06：40 (米国夏時間適用時の場合、終了時間は日本時間土曜日午前 05：40) ※当社は提携カバール先から配信された価格を含め、市場がお客さまに安定的で適切な価格を提供できる状況にないと判断した場合には、お客さまの新規注文または決済注文を含めて注文の受付、約定、変更を停止します。
メンテナンス時間	火曜日～金曜日の午前 06：55～午前 07：10 および土曜日午前 06：40～午前 07：10 (米国夏時間適用時の場合、火曜日～金曜日午前 05：55～午前 06：10 および土曜日午前 05：40～午前 06：10) ※メンテナンス時間中は、注文および約定ならびに振替を行うことができません。
最終決済方法	差金決済
両建て注文	可能
取引提示価格の 最小単位	対円通貨の場合：小数点以下 3 桁 外貨同士の組み合わせの場合：小数点以下 5 桁
口座維持費用	無料 ※口座維持の管理上、3 ヶ月にわたり現金残高がない場合はログイン制限をさせていただきます。
取引手数料	無料
振替手数料	F Xダイレクトプラス口座への振替入金および振替出金の手数料は無料です。 ※F Xダイレクトプラス口座の入金および出金にかかる手数料は、別途「F Xダイレクトプラス取引要綱」をご確認ください。
顧客報告書 発行手数料	無料 ※郵送の場合、1 件につき 1,080 円となります。
取引単位	1,000 通貨単位
注文種類	マーケット成行注文/指値注文/逆指値注文/OCO 注文

取引証拠金の振替	セントラルミラートレーダー取引口座とFXダイレクトプラス取引口座の間の振替は、原則として当社受付後即時。（ただし、事情によっては翌銀行営業日以内） ※FXダイレクトプラス口座からの出金は、別途「FXダイレクトプラス取引要綱」をご確認ください。
評価レート	建玉等の評価に使用される当社指定のレート
マージンコール	なし
ワーニングメール	取引日終了前における証拠金維持率が125%を割り込んだ場合に送信。
強制ロスカット	証拠金維持率が100%を割り込んでいることを当社システムが検知したときに注文を行い、当該注文を受注する時点においてお客さま向けに配信した価格を以て執行します。なお、強制的にすべての建玉を決済し、また発注済の注文もすべて取消します。
最小注文可能数量	5,000 通貨 (最小注文可能数量が5,000 通貨以上に設定されているストラテジもあります)
最大注文可能数量	3,000,000 通貨
建玉保有制限	必要証拠金を円換算して1億2,000万円まで（建玉数量の円換算額30億円相当）

- *1 原則としてインターネット取引となりますが、当社の判断により、それ以外の方法で取引を受け付ける場合があります。

【注意事項】

- 取引証拠金は日本円のみご利用いただけます。日本円以外の通貨は取引証拠金としてご利用いただけません。
- 決済損益及びスワップ損益は、当社指定のレートにて自動両替され、日本円にて実現されます。

【定義と執行方法】

注文種類	定義と執行方法
マーケット 成行注文	マーケット成行注文は、お客さまが注文価格を指定せずに行う注文で、お客さまの注文を当社システムで受け付け、受付順に執行致します。約定価格は、実際にお客さまの注文を当社システムが受注する時点において、お客さま向けに配信した価格^注となります。 「セントラルミラートレーダー」でのマーケット成行注文は、決済注文の場合のみ利用可能です。 注 当該配信価格が、お客さまの画面に表示されるまでにはお客さま端末と当社システムの間の通信に伴う時間差が発生します。 【スリッページ】 お客さまがマーケット成行注文を行う場合、お客さまの発注時に取引画面に表示されている価格と、実際の約定価格との間に価格差が生じている場合があります。当該価格差は、お客さま端末と当社システムの間の通信に伴う時間差により発生するもので、お客さまに有利になる場合もあれば、不利になる場合もあります。
指値注文	お客さまが注文価格を指定して行う注文で、当社がお客さまに配信する価格がお客さまの売り注文においてはお客さまの指定した価格以上、買い注文においてはお客さまの指定した価格以下になった時点で、お客さまの指定した価格で約定します。ただし、当社が注文を受け付けた時点でこの条件を満たしている場合、および取引時間内に約定しなかった注文について、取引時間開始直後にこの条件を満たした場合は、その時点で当社がお客さまに配信した価格で約定します。 「セントラルミラートレーダー」での指値注文は、決済注文のみに利用可能です。また、取引時間外に注文の取消、および注文レートの変更はできません。
逆指値注文	お客さまが注文価格を指定して行う注文で、当社がお客さまに配信する価格がお客さまの売り注文においてはお客さまの指定した価格以下、買い注文においてはお客さまの指定した価格以上になった時点で、お客さまに配信した価格で約定します。ただし、取引時間内に約定しなかった注文について、取引時間開始直後にこの条件を満たした場合は、その時点で当社がお客さまに配信した価格で約定します。 「セントラルミラートレーダー」での逆指値注文は、決済注文のみに利用可能です。また、取引時間外に注文の取消、および注文レートの変更はできません。 ※特に、相場の急変時や、メンテナンス時間終了後および週明け月曜日の始値には十分にご注意ください。
OCO 注文	2つの注文を同時に設定し、一方が約定したら他方が自動的に取消される複合型注文方法です。OCO 注文の個別の執行方法は、指値注文、逆指値注文の執行方法に従います。 「セントラルミラートレーダー」での OCO 注文は決済注文のみに利用可能で、かつ「指値」と「逆指値」の組み合わせのみが利用可能です。また、注文の変更・取消時は指値注文、逆指値注文それぞれ独立した変更と取消になります。この点で「FXダイレクトプラス」の OCO 注文と異なりますのでご注意ください。

自動売買 (オート)	多数のストラテジの中から、お客さまの裁量によりストラテジを選択・登録することで当該ストラテジのプログラムに従って自動的に新規のマーケット成行注文および最終決済のマーケット成行注文、指値注文、逆指値注文、OCO 注文のいずれかを繰り返す注文機能です。 ※自動売買取引により成立した建玉であっても、手動売買取引（マーケット成行注文、指値注文、逆指値注文、OCO 注文のいずれかによる）で最終決済することが可能です。 ただし、手動による指値注文、逆指値注文、OCO 注文のいずれかを設定した場合でも、それらの設定レートに到達する前に自動売買取引による決済注文がマーケット成行注文により行われることがあります。
---------------	--

- ◆「当社レート」とは、提携カバー先から配信された取引提示価格を参考にして、当社基準にて決定されたレートをいいます。

【自動売買に関する注意事項】

当社メンテナンス時間中に配信された売買シグナルについて	ストラテジの売買シグナルは、各ストラテジ提供者から配信されるものであるため、当社メンテナンス時間中（週末除く）でも、売買シグナルが配信される場合があります。 当社メンテナンス時間中（週末除く）に配信されたストラテジの売買シグナルについては、下記の通り処理されます。 ・新規注文売買シグナル 失効します。 ・決済注文売買シグナル 当社メンテナンス時間終了後の一定時間内に発注され、その後約定します。 ※ストラテジがシグナルを配信した時刻の価格と約定した時の価格が乖離する場合があります。
ストラテジの取引履歴について	「ストラテジの取引履歴」は、お客さまの取引に限らず、他業者を含め当該ストラテジを用いて行われた全ての取引を元に作成された参考履歴となります。そのため、「ストラテジの取引履歴」に表示されている取引は、お客さまのお取引履歴や、実際のお客さまのお取引内容（約定時間、約定価格）と異なります。
最大建玉について	・「最大建玉」とは、お客さまが選択したストラテジが同時に保有できる最大の建玉個数をいいます。 ・最大建玉が「4」のストラテジは、同時に最大4つまで建玉を保有できます。 当該ストラテジが既に4つの建玉を保有している場合は、それ以上同一の方向に建玉を増やす新規注文の売買シグナルは配信されません。ただし、両建て取引を行うストラテジは、買いと売りの建玉をそれぞれ4つまで保有できます。 ・お客さまが任意に設定することにより、最大建玉を変更することができます。 例えば、最大建玉「4」のストラテジを最大建玉「2」に変更した場合において、既に2つの建玉を保有しているときは、それ以上同一の方向に建玉を増やす新規注文の売買シグナルは配信されません。 ※最大建玉は「建玉数量」ではなく、ストラテジ単位で計算されます。 (例：1つの建玉に対し注文数量「1（千）」に設定した場合、最大建玉「4」のストラテジは、「4（千）」（＝1（千）＋1（千）＋1（千）＋1（千））まで建玉を保有することが可能です。) ※ストラテジの最終決済シグナルと新規シグナルの配信タイミングによっては、最

	終決済シグナル後の新規シグナルであっても、新規建玉とならない場合があります。 ※最大建玉を変更した場合、ストラテジの通りの取引とならないためパフォーマンスが変わる可能性があります。ストラテジ通りの取引をご希望の場合、最大建玉を解除する必要があります。 ※ストラテジによっては、同時に複数のシグナルを配信する場合があります。その場合、設定された最大建玉以上の建玉を保有する可能性があります。
ストラテジについて	- 各ストラテジの内容やT-Score（システム提供会社独自のストラテジの評価方法）、総取引回数、最大ドローダウン、最大ポジション、損益等、「パフォーマンスデータ」は、取引画面の「ストラテジカード」で確認できます。 ※「パフォーマンスデータ」は、以下のような特徴があるため、お客さまが選択したストラテジに掲載された「パフォーマンスデータ」と同様の利益または損失となる保証はありません。 ※過去の運用実績となるため、将来の運用成績を保証するものではなく、相場動向によっては、過去の運用実績を大きく下回るおそれがあります。 ※システム提供会社またはストラテジ提供者が独自に取得した外国為替レートを利用して計算しているため、当社レートで計算した結果とは異なる場合があります。 ※ストラテジがプログラムに従って発注するタイミングによっては、同一の売買シグナルでも約定時間および約定価格が異なる場合があります。 ※ストラテジは、ストラテジ提供者より当社が提供を受け、取引頻度などの審査を行い、通過したものをお客さまに提供しています。当該ストラテジ提供者が本サービスの提供を休止または廃止した場合は、継続してご利用できなくなります。このほか、ストラテジ提供者または当社もしくはシステム提供会社の事情または判断により、個々のストラテジが削除されることがあります。 - 複数のストラテジを稼働させた場合、リスクを軽減できる可能性がある一方、組み合わせによっては損失が大きくなる可能性があります。 - ストラテジを稼働させることにより、想定以上の損失が発生するおそれがあります。 - 各ストラテジで売買判断をする際に使用しているレートと当社が売買を執行する際に使用しているレートは異なります。 - システム提供会社との間で通信回線等の障害が発生した場合、新規シグナルは失効する可能性があります。決済シグナルは通信回線等の回復後、一定時間内に発注され、その後約定します。そのため、決済シグナルが発生した時のレートと乖離した価格で約定する可能性があります。

【取引通貨ペア一覧】（全 22 通貨ペア）

取引通貨ペア	取引単位	決済通貨	決済日
米ドル/円	1,000 USD	日本円	2 営業日
ユーロ/円	1,000 EUR	日本円	2 営業日
ポンド/円	1,000 GBP	日本円	2 営業日
豪ドル/円	1,000 AUD	日本円	2 営業日
ランド/円	1,000 ZAR	日本円	2 営業日
スイス/円	1,000 CHF	日本円	2 営業日
NZ ドル/円	1,000 NZD	日本円	2 営業日
カナダ/円	1,000 CAD	日本円	2 営業日
ユーロ/米ドル	1,000 EUR	米ドル	2 営業日
豪ドル/スイス	1,000 AUD	スイスフラン	2 営業日
NZ ドル/スイス	1,000 NZD	スイスフラン	2 営業日
ポンド/米ドル	1,000 GBP	米ドル	2 営業日
豪ドル/米ドル	1,000 AUD	米ドル	2 営業日
NZ ドル/米ドル	1,000 NZD	米ドル	2 営業日
米ドル/スイス	1,000 USD	スイスフラン	2 営業日
米ドル/カナダ	1,000 USD	カナダドル	翌営業日
ユーロ/ポンド	1,000 EUR	英ポンド	2 営業日
ポンド/スイス	1,000 GBP	スイスフラン	2 営業日
ユーロ/スイス	1,000 EUR	スイスフラン	2 営業日
ユーロ/豪ドル	1,000 EUR	豪ドル	2 営業日
ポンド/豪ドル	1,000 GBP	豪ドル	2 営業日

豪ドル/NZ ドル	1,000 AUD	NZ ドル	2 営業日
-----------	-----------	-------	-------

※取引単位は 1,000 通貨単位ごとですが、最小注文可能数量は 5,000 通貨単位から注文可能です。

(最小注文可能数量が 5,000 通貨以上に設定されているストラテジもあります)

※お取引にあたっては、各通貨ペアにおける商品通貨（通貨ペアの左側に表示された通貨）の取引額の
時価評価額に対して 4 %相当額の取引証拠金が必要になります。

(例：米ドル/円を 1,000 通貨お取引になる場合、40 米ドルを時価評価して算出された円換算額が取引証拠金
として必要になります。)

なお、必要証拠金を円換算する場合は、当社の基準にて決定された評価レートを使用します。

※必要証拠金は最低取引単位に対する最低必要額です。(カッコ内は証拠金率)

※各取引通貨ペアの維持証拠金は、証拠金率 4.0%となります。

発効日 2013 年 02 月 04 日

改定日 2013 年 07 月 29 日

改定日 2013 年 11 月 11 日

改定日 2014 年 03 月 31 日

改定日 2014 年 04 月 21 日

改定日 2014 年 05 月 19 日

改定日 2014 年 08 月 04 日

改定日 2016 年 02 月 15 日

改定日 2016 年 08 月 01 日

改定日 2017 年 06 月 26 日

改定日 2017 年 09 月 25 日

改定日 2018 年 04 月 02 日

改定日 2018 年 07 月 16 日

改定日 2019 年 03 月 04 日